

令和4事業年度

決 算 報 告 書

自：令和 4年 4月 1日

至：令和 5年 3月 31日

国立大学法人富山大学

令和4事業年度 決算報告書

国立大学法人富山大学

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算－予算)	備 考
収 入				
運営費交付金	12,702	12,779	76	(注1)
うち補正予算による追加	-	76	76	
施設整備費補助金	1,238	1,226	△ 11	(注2)
補助金等収入	1,948	1,942	△ 6	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	20	20	-	
自己収入	28,043	29,638	1,594	
授業料、入学料及び検定料収入	5,130	5,122	△ 7	(注4)
附属病院収入	22,736	24,219	1,483	(注5)
雑 収 入	176	295	118	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	2,491	2,675	184	(注7)
引当金取崩	25	38	12	(注8)
長期借入金収入	296	356	59	(注9)
目的積立金取崩	-	852	852	(注10)
計	46,766	49,529	2,762	
支 出				
業務費	39,678	39,263	△ 414	
教育研究経費	17,870	17,734	△ 136	(注11)
うち教育・研究基盤維持経費	-	51	51	
うち附属幼稚園教育体制強化分	-	1	1	
うち年俸制導入促進費	-	12	12	
診療経費	21,807	21,529	△ 278	(注12)
施設整備費	1,554	1,602	48	(注13)
補助金等	1,696	1,634	△ 61	(注14)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	2,491	2,549	58	(注15)
長期借入金償還金	1,346	1,344	△ 2	(注16)
計	46,766	46,394	△ 372	
収入－支出	-	3,134	3,134	

※金額は、百万円未満切り捨てにより作成しているため、合計が合わない場合がある。

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金の追加配分による76百万円の増
- (注2) 事業計画の変更による11百万円の減
- (注3) 見込み額を過大に見積もっていたことによる6百万円の減
※補助金等収入には、授業料等減免費交付金が274百万円含まれており、本補助金は授業料等免除に使用している。
- (注4) 見込みよりも授業料収入が多かったことによる15百万円の増、見込みよりも入学料免除が多かったことによる7百万円の減、見込みよりも検定料収入が少なかったことによる15百万円の減
- (注5) 入院診療単価の向上、外来診療単価の向上、新規入院患者数及び手術件数が増加したことによる1,483百万円の増
- (注6) 財産貸付料収入、特許権等収入等が増えたことによる81百万円の増。予算段階で見込んでいなかった保険金の入金等による37百万円の増。
- (注7) 外部資金の獲得に努め、受入額が増えたことによる184百万円の増
- (注8) 予算段階で予定していなかった引当金の取崩しによる12百万円の増
- (注9) 事業計画の変更による59百万円の増
- (注10) 第4期中期目標期間への繰越承認を受け、目的に沿ってキャンパス・附属病院設備及び研究環境の整備等に充てたことによる852百万円の増
- (注11) 人件費等の執行額が減ったことによる136百万円の減
- (注12) 無菌治療室増床工事のための繰越（業務達成基準）による34百万円の減、予算段階で予定していなかった補助金の獲得等による補助金での経費負担増加に伴い診療経費の執行額が減ったこと等による244百万円の減
- (注13) (注2)に示した理由による11百万円の減、事業計画の変更により長期借入金収入が増えたことによる59百万円の増
- (注14) (注3)に示した理由による6百万円の減、事業計画の変更により執行額が減ったことによる55百万円の減
- (注15) 受入額の増加に伴い執行額が増えたことによる58百万円の増
- (注16) 金利見直しによる2百万円の減

○損益計算書の計上科目と決算報告書の集計区分の相違の概要

- (1) 損益計算書に計上されている人件費は、決算報告書上は業務費に含めて表示している。
- (2) 損益計算書に計上されている支払利息65百万円は決算報告書上、長期借入金償還金に含めて表示している。